

ハイリング検討システム 更新履歴

Ver.4.03.05 (2011.7.20)

- ・片ピン検討時の一部判定の不具合を修正しました。
- ・応力直接入力した際の表示と判定不具合を修正しました。
- ・印刷時の不具合を修正しました。

Ver.4.03.04 (2011.3.17)

- ・印刷時の不具合を修正しました。

Ver.4.03.03 (未公開)

Ver.4.03.02 (2010.11.15)

- ・印刷時の不具合を修正しました。

Ver.4.03.01 (2010.10.25)

- ・2010年5月取得評定(BCJ 評定-ST0095-05)に対応しました(適用範囲の拡大)。

Ver.4.02.07 (2010.3.10)

- ・大梁検討時の Lh 範囲の表示の不具合を修正しました。

Ver.4.02.06 (未公開)

Ver.4.02.05 (2009.11.27)

- ・印刷時の文字化け等を修正しました。

Ver.4.02.04 (2009.9.30)

- ・印刷時の文字化け等を修正しました。

Ver.4.02.03 (2009.9.17)

- ・設置可否判定表の出力フォーマットを修正しました。

Ver.4.02.02 (2009.7.31)

- ・継手入力がある場合の大梁検討時に一部不具合があり修正しました。
- ・出力フォーマットを修正しました。

Ver.4.02.01 (2009.7.1)

- ・型式 450B を追加しました。

Ver.4.01.08 (2009.6.11)

- ・選定表印刷時に文字が表示されない不具合を修正しました。

Ver.4.01.07 (2009.5.18)

- ・片ピン検討時の Lh 範囲の表示の不具合を修正しました。

Ver.4.01.06 (未公開)

Ver.4.01.05 (2009.4.15)

- ・片ピン検討時の Lh 範囲の表示の不具合を修正しました。

Ver.4.01.04 (2009.3.31)

- ・小梁検討時の Lh 範囲の表示の不具合を修正しました。
- ・短期応力の表示に一部不具合があり修正しました。

Ver.4.01.03 (未公開)

Ver.4.01.02 (2009.3.2)

- ・設計応力を直接入力した場合の判定表示の不具合を修正しました。

Ver.4.01.01 (2009.2.23)

- ・ハイリング 工法に対応

Ver.3.01.03 (2008.9.29)

- ・正式リリース版

Ver.3.01.02 (2008.8.28)

- ・「耐力図による検討」で複数孔を検討した時、型式が自動選定されない場合があり修正しました。
- ・「設置可否ゾーンによる検討」で、2つ目以降の梁が選択できないバグを修正しました。
- ・入力した物件名が元に戻ってしまうバグを修正しました。

Ver.3.01.01 (2008.準備中)

- ・新検討プログラム 初版

Ver.2.01.00 (2007.01.18)

- ・Jタイプに対応しました。

Ver.2.00.00 (2005.03.17)

- ・孔位置の耐力評価法が変更になりました (BCJ 評定-ST0095-02 準拠)。

Ver.1.00.05 (2003.11.26)

- ・「クイック入力/修正」画面の孔位置における応力の表記の誤りを訂正しました。

Ver.1.00.04 (2003.10.28)

- ・「ウェブ中心からの偏心量の最大値」の算出における誤りを修正しました。

Ver.1.00.03 (2003.10.20)

- ・「クイック入力/修正」画面でデータ保存後「完了」ボタンを押して「予期されないエラーが発生しました。」というメッセージが表示された場合、無限ループに陥るバグを修正しました。
- ・「クイック入力/修正」画面で「名前を付けて保存」を実行した場合、入力したデータが更新されずに保存されるバグを修正しました。

Ver.1.00.02 (2003.10.17)

- ・「クイック入力/修正」画面で「完了」ボタンを押した後に、入力されたウェブ中心からの孔の偏心量 e が「0 e (本システムが算出する最大値)」であることを判定する機能を追加しました。

Ver.1.00.01 (2003.10.1)

- ・自己解凍ファイルでインストールを自動実行するようにしました。
- ・印刷時、「印刷の向き」に「横」を選択すると不具合が生じるため「印刷の向き」は「縦」のみとしました。さらに、「用紙サイズ」も「A4」のみとしました。印刷画面の「プロパティ」等で変更しても、常に印刷の向きは縦で、用紙サイズはA4で印刷されます。
- ・「新規作成」で各データが完全に初期化されないバグを修正しました。
- ・画面領域 800×600 ピクセルに対応するため、本システムの表示される画面領域を縮小しました。
- ・説明書を更新しました。

Ver.1.00.00(2003.9.24)

- ・初版